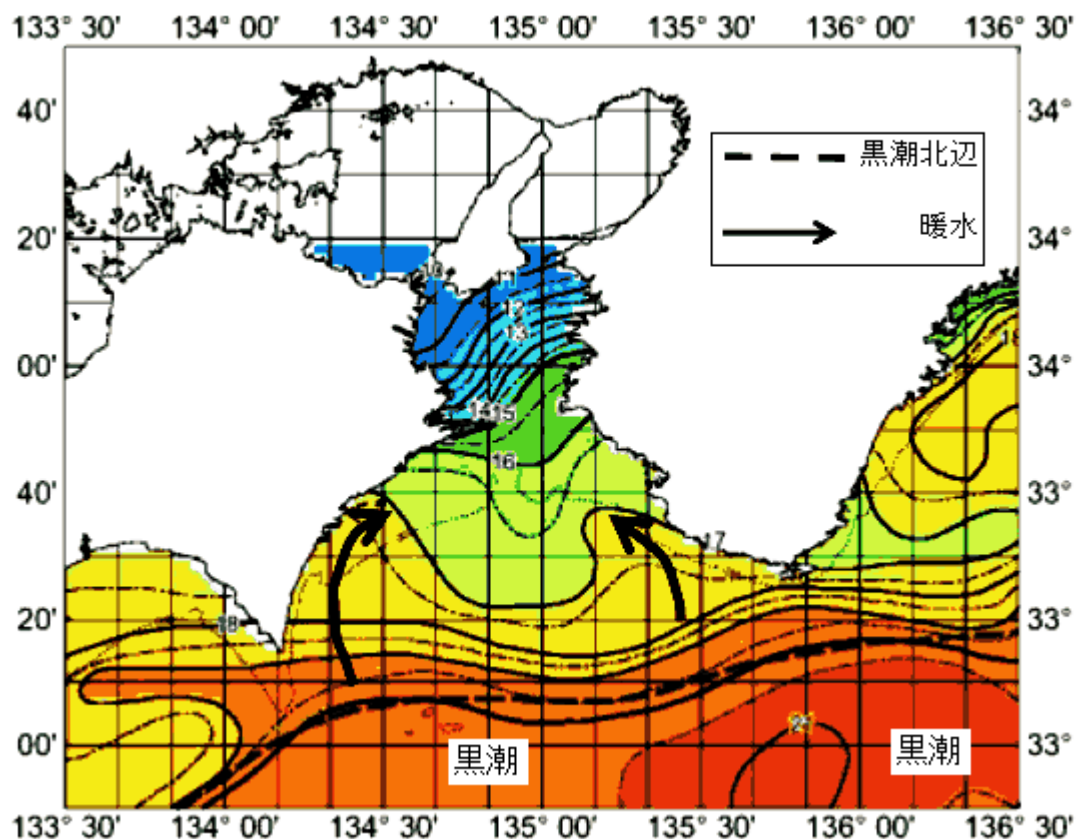


1. 海況の経過

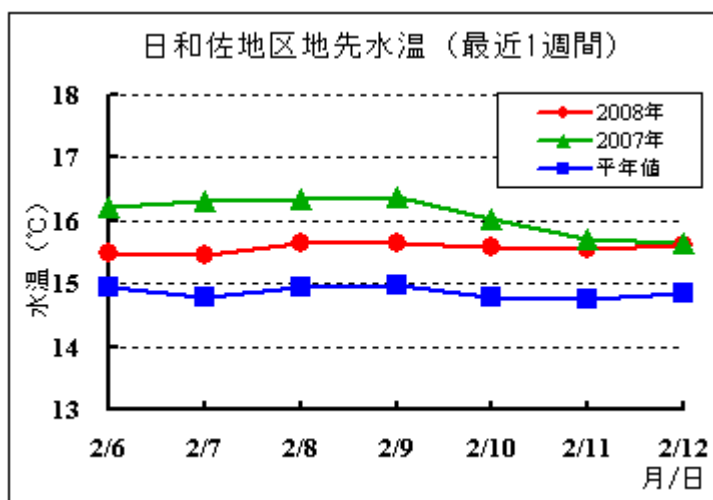
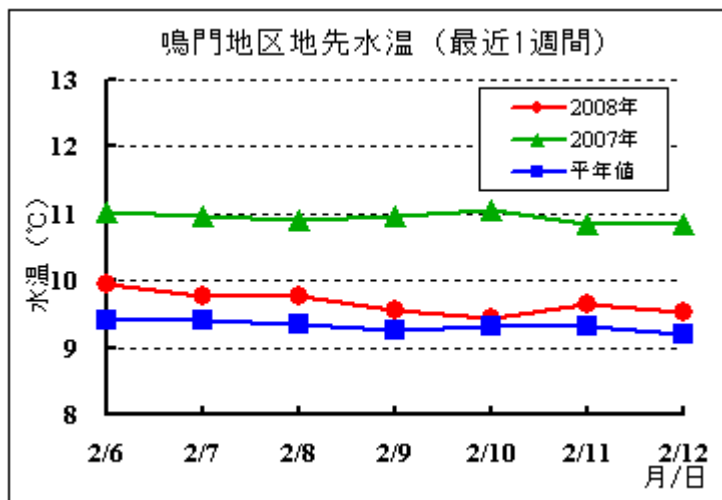


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.02.12)を示した。黒潮は室戸岬沖および潮岬沖ともに接岸している。黒潮本流の表面水温は19～21℃台である。表面水温は播磨灘が9℃台、紀伊水道内部が10～15℃台、外域15～18℃台である。先週に引き続き室戸岬沖の黒潮から海部沿岸に沿って暖水が波及している。また、潮岬沖の黒潮からも紀伊水道外域に向かって暖水が波及している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の9.4～10.0℃、日和佐地区は「やや高め」の15.5～15.6℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の15.4～16.8℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.4トン(1日1隻あたり15kg)、サバフグが0.2トン(同9kg)、大主体にトラフグが60kg(同4kg)、紀伊水道でもトラフグが43kg(同2kg)水揚げされた。

建網:海部沿岸で、中主体にヒラメが0.3トン(同6kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.8トン(同8kg)、メジナが0.4トン(同43kg)、キビナゴが0.3トン(同10kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にスルメイカが0.5トン(同68kg)、シイラが0.2トン(同35kg)、マメ主体にマアジが0.2トン(同27kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン(同7kg)、特大、大主体にタチウオが0.6トン(同99kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)02月05日～02月11日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	29	443	15	大主体
		サバフグ	21	197	9	
		トラフグ	14	60	4	大主体
	紀伊水道	トラフグ	19	43	2	
建網	海部沿岸	ヒラメ	49	277	6	中主体
小型定置網		アオリイカ	101	762	8	大主体
		メジナ	9	390	43	
		キビナゴ	31	311	10	
		大型定置網	スルメイカ	7	477	68
シイラ			7	246	35	
マアジ			7	192	27	マメ主体
釣り		アオリイカ	110	739	7	大主体
		タチウオ	6	592	99	特大、大主体

特異事項:

- ・2月4日から海部沿岸の由岐沖で6cm前後の小型のアカクラゲが大量に出現した。アカクラゲの他、透明で、崩れて網に絡まりやすいチョウクラゲが出現した。2月12日の聞き取り調査によると県内の沿岸部には現れていない。クラゲが出現していた時期には紀伊水道内海系水が海部沿岸へ南下していたため、内海系水の流に乗って海部沿岸へ来遊したと考えられる。
- ・2月12日の聞き取り調査によると海部沿岸下灘で操業する大型定置網にハリセンボンが大量に入網した。現在、紀伊水道沖合の黒潮は接岸して流れているため、室戸岬沖から海部沿岸に沿って波及した暖水とともに徳島県沿岸部に来遊したと考えられる。

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。
地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、ビンナガが20.1トン(1日1隻あたり116kg)、キハダが3.1トン(同18kg)、カツオが1.4トン(同8kg)、釣りで、タチウオが0.2トン(同3kg)、パッチ網でシラスが1.9トン(同69kg)水揚げされた。
高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが10.1トン、サバ類が71.5トン、スルメイカが53.0トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上